

冬には「流氷サウナ」に！ 日本唯一・世界遺産を望むデザインサウナが誕生

北海道・北こぶし知床 ホテル&リゾート

北海道・知床で宿泊施設を運営する北こぶしリゾートは、一番メインの大型ホテル「北こぶし知床 ホテル&リゾート」のサウナ室を、時代に合わせてリニューアルし、6月19日(土)よりオープンいたします。



新設予定のサウナ室には、風景をパノラマで切り取る大きな窓を設置。眼下には、世界自然遺産である知床の大自然が広がります。連なる山々と雄大なオホーツク海に、すべるように飛ぶカモメと海原はるかを行き交う漁船や観光船。テレビはなく、聞こえるのはほのかなBGMのみ。水風呂で体を引き締めた後は、露天スペースに設置された外気浴用の椅子で澄んだ空気を体いっぱいに取り込み、心も体もしっかりと”ととのって”いただけます。

今回のサウナリニューアルは、サウナー専門ブランドやサウナのプロデュースを手がけるTTNEが監修。ダイナミックな流氷をイメージして直線的なデザインを力強く表現した「KAKUUNA（カクウナ）」と、木の洞窟をイメージして緩やかな曲線でうねりを描いた「UNEUNA（ウネウナ）」が誕生しました。「UNEUNA」のうねりは、世界でも珍しい3D加工で木材を削り出して曲線を形取っています。



【本リリースに関するお問い合わせ先】

北こぶしリゾート 経営戦略室広報担当

電話：0152-24-2021 メール：h-murakami@shiretoko.co.jp 担当：村上

サウナストーブは、世界一のシェアを誇るHARVIA社のストーブを採用。ストーブを囲む壁面には六方石を使用し、知床の切り立った岩肌を表現しています。ストーブの上のサウナストーンは、地下30km以下の深部にあるマグマから生成されたものを使用しました。景色に加えて、建築からも知床の大自然を感じていただければ幸いです。また、サウナ内のBGMは、サウンドアーティストの松本一哉氏が知床の地で環境音を即興で録音・制作したドキュメンタルなサウンドを音源に使用しています。

知床は北海道の中でもロシアにほど近い場所に位置し北欧・カナダと緯度が近く、まるで海外にいるような異国感の中で、壮大なスケールの大自然を体いっばいに味わっていただけます。この機会に、一人でも多くの方が足を運んでいただけることを願っています。



代表・桑島大介コメント

今回、サウナ室の老朽化に合わせて改修を計画していましたが、ただ補強をするだけでなく、昨今のサウナトレンドに合わせてより魅力的なサウナをつくることで施設の価値向上や集客にもつながるのではと思い、今回のリニューアルに至りました。僕自身、もともとサウナ嫌いだったのですがととのえ親方にサウナの入り方を指南してもらい、今では社内でも一番と言えるほどサウナの魅力に目覚めた一人です。海外からの旅行客を見込むのが難しくなってしまった現在、こういった投資的取り組みが国内の旅行客に足を運んでいただく大きなきっかけになればと考えています。

TTNE・ととのえ親方からのコメント

改めて、縁のある北海道の地で新たにサウナ監修をさせていただいたこと、とても嬉しく思っています。今回は知床の地で感じたことをインプットに、サウナ全体で知床の大自然を感じていただけることを目指しました。サウナ室のデザインからは流氷や洞窟を、壁面からは知床の力強い崖を、石からは北海道の大地を、全身で感じていただければ嬉しいです。また窓からの風景は、別の場所かと思うくらい風景が全く異なり、春夏秋冬で劇的に変化していきます。できれば、ぜひ各季節で訪れていただき、その変化も楽しんでいただきたいと思っています。



また、今回の「日本にまだないサウナ」の実現には、アーティストリーという特注家具のチームの協力が不可欠でした。今回のリニューアル企画のタイミングでちょうど木材の3次元表現に挑戦していたこのチームとの出会いがあり、実現しました。

[TTNE]

TTNEは、ととのえ親方こと松尾大・サウナ師匠こと秋山大輔が主宰する、サウナー専門ブランド。“オジさん”イメージが強い日本のサウナに、北欧のように若者を中心に幅広い層に受け入れられるデザインされたサウナ文化を根付かせたいという思いから2017年に発足。11月11日をサウナの記念日「ととのえの日」に制定（日本記念日協会認定）。「Saunner」ロゴデザインによるファッションやグッズを販売。現代の日本で心身ともに最も“ハード&クリエイティブ”な活動を展開する人々とともにサウナのプロデュースやイベントの開催などの活動を通じて、日本におけるサウナのリブランディングを目指す。TTNE公式サイト：<https://ttne.jp>

株式会社アーティストリー

商業施設や有名ハイブランドから個人宅まで、様々な生活空間のオーダー家具什器を製作する東海地区最大級の特注家具会社。永年培ってきた職人技術に加え、木材を3次元に加工できる5軸CNCや3DCADといった最新デジタル技術を融合させて、唯一無二の作り手を目指しています。人の手では加工困難な3次元の木材表現を3Dデータ通りに実現するこの技術を、特注(単品作り)対応している企業は、日本国内ではほんの一握りです。「Art is Try: 皆の心の中のアートを具現化する担い手であれ」を企業ミッションにすえ、日々、作り手としての挑戦を続けています。公式HP：<http://www.artistry.co.jp/>

音楽家 / サウンドアーティスト 松本一哉からのコメント

知床の氷海の変化や、全面凍結した湖で鳴る音などを水中マイクなどを使用して録音制作しました。また、偶然に起こる環境音と即興演奏も行っています。日常で閉じてしまっている"聴く"事の感覚を開いてもらえたらと思います。サウナの熱と共に全身で味わってください。

松本一哉

音楽家・サウンドアーティスト・ドラマー。

主に楽器ではなく、造形物・非楽器・自然物・建築物・身体などをを用いた即興表現を追究。

偶然に起こる環境音との即興によるドキュメンタルな音源制作をはじめ、展示会場に滞在・生活して音を展示し続ける動態展示、全都道府県を一人で回る演奏ツアーや、ライブ公演を行わず人に会いに行く事がテーマの"人の音を聴きに行くツアー"を行うなど、場で起こる事にフォーカスした活動を展開。自身の音と環境音との境界線を無くし、聴く事に没入させる即興表現は、音の気づきを促すと表現ジャンルの枠を超え高く支持を得ている。公式サイト：<http://www.horhythm.com/>

北こぶし知床 ホテル&リゾート」について

知床の中心部に位置する「北こぶし知床 ホテル&リゾート」では、長い年月をかけて育まれた手つかずの自然を感じながら、特別なひとときを存分に味わっていただけます。

ホテルには、景色を見ながらのんびりできる足湯や図書ライブラリーのあるラウンジ、シックなラウンジバーを有し、ゆったりとした"知床時間"を感じていただける大人の空間がみなさまをお待ちしています。



北こぶし最大の魅力ともいえるのがbuffestailで提供されるお料理。

ディナーでは、知床産の食材を中心に約50種類のメニューをご用意。シェフが目の前で調理してくれるライブキッチンで、出来立てにこだわったお料理を、味覚はもちろんのこと視覚でも愉しんでいただけます。

朝食も同じくbuffestailの提供ですが、中でも、地元につながる「知床あっぺメシ」はおすすめの一品。あべこべを意味する（あっぺこっぺ）という地元訛りをもじった言葉で、日本一の漁獲量である知床特産の鮭を使った炊き込みご飯です。そのまま食べても、地鮭漬けを乗せてもよし、最後にだし汁をかけてお茶漬けにして、味わい方を変えながら楽しんでいただけます。



そして今回サウナが新設される大浴場は、展望大浴場「大海原」と露天スペース「汐音（しおん）」から成っています。海と空の狭間に浮かぶような空間で、サウナとともに知床ウト口温泉で疲れを癒していただけます。

北こぶし知床 ホテル&リゾート

住所：〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウト口東172番地

公式WEB：<https://www.shiretoko.co.jp/>

本リリースの画像は、以下よりご手配いただけます。

<https://bit.ly/3gmE53o>